

第24回会津若松市公園緑地協会理事長杯 兼
福島民友杯争奪
22th・AIZUミニバスケットボールジュニアカップ大会

実施要項

1. 主催 会津若松市公園緑地協会・福島民友新聞社
会津バスケットボール協会U12部会
2. 共催 会津若松市ミニバスケットボール協会
3. 後援 福島県スポーツ少年団本部会津支部・会津若松市教育委員会
会津若松市スポーツ少年団本部・会津バスケットボール協会U12部会保護者連合会
4. 期日・日程
及び会場
9月26日(土)、9月27日(日) 河東総合体育館
10月4日(日) 鶴ヶ城体育館
10月10日(土) あいづ総合体育館
ゲームスケジュールは、参加チーム数により決定する。
5. 競技方法 参加チーム数により決定する。
新型コロナウイルス 感染拡大防止策を優先にする。
24秒ルールを適用する。ディフェンスはマンツーマンディフェンスとする。
6. 参加制限 チーム構成人員は、コーチ、Aコーチ、マネージャー、Aマネージャー
各1名選手15名(小学5年生以下)計19名以内とする。
選手登録の有無は問わないが、スポーツ障害保険に加入していること。
また、今回登録のない選手については新人戦地区大会までにJBA登録して
頂くことをお願いいたします。
※10名未満8名以上のチームの参加を認める。
※次年度にチームの再編成を行うチームは、再編成後のチームでの出場を認める。
7. 観客数の制限 各チームの観客数は、15名以内とする。なお、その内訳はチームの判断によるが、
2週間の健康チェックを行っていること。
8. 参加申込
及び参加料 【申し込み先】 〒965-0101 会津若松市北会津町真宮1635
事務局長 小沼 典男
携帯 090-6227-2556
E-Mail aizuminiren@keikakukensetu.co.jp
【期限】 令和2年9月17日(木) 必着(メンバー表添付のこと)
【参加料】 1チーム 5,000円
※1.参加しない場合も、必ず連絡してください。
※2.学校行事が大会日程と重なっている場合は申込書にその旨を明記してください
組合せ抽選後の変更は受け付けませんので、申込み前に必ず日程の確認を行って
9. 審判・テーブルオフィシャル
大会事務局において、割り当てを行いホームページに掲載いたしますのでご確認
ください。
10. 表彰 1位~3位に賞状を授与し、男女1位にカップ(福島民友杯)、男女1位・2位に
トロフィー(公園緑地協会理事長杯)を贈る。
また、大会を通して活躍した選手に男女5名に優秀選手賞を贈る。
※新型コロナウイルス感染防止対策を講じる中での大会につき、表彰を行わない場合がある。
11. 組合せ 事務局で責任抽選し、適正に組合せを抽選決定させていただきます。
12. その他 ☆大会結果は、2月の新人戦のシードに反映されます。
13. 新型コロナウイルス感染対策
新型コロナウイルス感染防止対策は下記のとおりとする。
【新型コロナウイルス感染拡大防止策】
以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々は
もちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上
で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。
*基本方針 福島県およびJBA・FBAのガイドラインによる。
○下記項目やチェックリストによる自主的な参加見合わせを徹底する。
・体調が良くない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある)
・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加選手の参加同意書はチーム責任者が作成し、提出させること。
- 健康チェックシートの記入とその管理（各管理者は3ヶ月保管）
- ・入場者とは、大会参加者、審判、家族、スタッフ、協会役員を指す。
- ・協会役員においても、大会主催者への提出をお願いします。
- コート上を除くすべての方のマスク着用を義務化（各自持参）
- ・屋外で、2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- 屋内でのソーシャルディスタンス確保のためのベンチ・T.Oの取り扱い
- ・1～1.5mの距離を保った椅子の配置を行う。
- ・コート間の観客席は、ステージ側コートで試合を実施するチームにそれぞれ10席を設置する。
- ステージおよびギャラリーでの観客動員制限
- ・ステージは10人程度の観戦を可とする。（他チーム指導者、スタッフ、協会役員が利用）
- ・ギャラリーは50人までの観戦を可とする（ステージ正面を20人、他辺を各15人）。
- なお、ギャラリー使用が認められるのは、試合の当該チームの保護者並びに家族・親戚とする。
- 手指消毒液・ペーパータオルの設置及び使用を呼びかける掲示を行う。
- ・出入口、審判控え室、更衣室、手洗い場、トイレ等
- 会場出入口は入り口と出口を分けて導線を作成する。
- 会場の備品、ドアノブ、トイレなどの消毒は1時間おきに実施する。
- 握手・ハイタッチ・抱擁等の接触を避けるよう周知する。
- 試合前のアップは屋外を原則とする。
- 審判は原則1試合とし、長時間の会場滞在を避ける。
- コート上でのチームメイト、審判員との会話の距離についても留意するよう周知する。
- 前試合のハーフタイムでのアップは実施しない。
- ・換気及び試合後の除菌について説明を行う。
- スコアラーのみ、ステージ上に残り、スコアシートを完成をさせる。
- 試合間は除菌作業と選手等の入退場のために20分間設ける。
- 試合後のベンチ、T.O、用具、出入口の除菌作業の実施
- ・ボール・T.O除菌→大会スタッフが実施
- ・ベンチ・T.O除菌→チーム責任者監督のもと、使用者が実施
- アイスボックス等の共有物を設置しない。
- ・審判員・ステージでの観戦者への飲料等の準備も実施しない。
- ・審判員の昼食の用意については、協議の上準備する方向で進める。
- タオル・飲食等、すべてのものの共用をしないよう周知を徹底する。
- ・粉末ドリンク作成前にも手洗いと手指消毒を実施するよう周知する。
- ごみの廃棄については、原則持ち帰り。大会役員のゴミについては大会スタッフがマスク・手袋着用で処理し、その後手指消毒を実施する。
- 各諸室の窓およびドアの開放、大型扇風機の利用等で換気を促す。
- *努力事項 JBAに示されているガイドラインの中で皆様のご協力のもと実現をしていきたいと考えている事項を下記に記します。
- 1イベント300人の原則（全校生徒平均600人の2分の1）
- ・1施設2面での試合実施を可能とする。
- ・タイムスケジュールを作成し、選手、指導者並びに保護者等の協力を得て、常時、敷地内300人以内に努める。
- 屋内150人の原則（300人以内50%の原則）
- ・1チームのエントリー数を原則12名までとする。
- ・ギャラリーでのソーシャルディスタンスの確保に保護者の皆様のご協力をいただく。
- ・試合間を30分設けることで、退場10分、除菌作業に10分、入場10分の時間を確保し、屋内150人以内に努めます。会場での人の入れ替えりにご協力ください。
- ・観客席およびギャラリーの除菌は、観客の方にご協力いただきます。
- ※ 主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。
- 観客動員に制限をかけての試合の実施（観客間1～1.5m確保）
- ・各チームの選手の保護者並びに家族や親族の観戦を認める。但し、観戦される方に関しては、日頃から健康管理を実施するとともに当日の健康に関する不安がないことを条件とします。
- ・接触確認アプリを活用するように広く周知するとともに入り口にアプリ登録推奨の掲示をする。
- ワクチンや特効薬の作製がされていないため、発症後のリスクは現在も変わりません。
- 高齢者や持病をお持ちの方は、重症化リスクを考え、来場はできる限り、避けるよう御協力下さい。